



組合に入って
給与削減を止
めさせよう

2012. 6. 12 No. 38-6
編集・発行：名大職組中央執行委員会
連絡先：TEL:789-4913 FAX:781-4072
事務所：工学部二号館北館 332
Home Page：http://nuufs.org
e-Mail：nuufs@nuufs.org

給与引き下げ提案に当たって 全教職員に訴えます！！

去る5月22日の部局長懇談会、29日の臨時部局長会で大学当局(役員会)は、国家公務員の給与削減に対応して、大学教職員の給与を平均7.8%引き下げる案を示しました。その上で、6月4日までに意見を求めるとし、翌5日に部局長懇談会を開きました。

そこには多くの部局から意見が出されました。中には非常に詳しく内容を展開し、説得力がある意見を述べられている部局もありました。各部局のこうした真摯な対応に敬意を表したいと思います。

しかし、残念ながら、いくつかの部局では、意見が出されませんでした。このような重大な問題に、何の意見もなかったのでしょうか?いずれにしても、教職員は大いに失望感を抱いたことでしょう。

各部局から出された意見は、消極的に賛成するものもありましたが、提案に反対するものが圧倒的でした。

【各部局の意見及び組合の主張は裏面をご覧ください。】

一人一人の意思を大学に伝えましょう

以下の内容に賛同していただけるなら、署名の上学内便でご返送ください。



(該当する項目にチェックをお願いします。ご意見、ご提案がございましたら、このニュースを利用し、学内便でお送りくださるか、Emailでお寄せ下さい。団体交渉に活かしていきます。宛先:nuufs@nuufs.org)

根拠もなく、経営努力や具体的なデータも示されない給与引き下げに反対します。
給与を削減せざるを得ないなら、削減幅の圧縮と、それに見合った代償措置を求めます。
組合に加入しますので加入申込書を送ってください。

ご意見・提案

所属

お名前

「提案に反対！」の意見が圧倒的

部局長懇談会に部局の意見

各部局から出された意見は、消極的に賛成するものもありましたが、提案に反対するものが圧倒的でした。

- * 国立大学への押しつけに法的根拠がないのではないか？
- * 本当に復興財源に使われるのか、その保証がないのではないか？
- * 何も悪いことをしていないのに、あまりにも大きな不利益である
- * 大学当局の経営努力が足りないのではないか？
- * 総長はじめとした役員会の顔が見えない
- * 教職員の流出やモラル低下につながるのではないか？
- * 代償措置が不十分なのではないか？

等々、我々がこれまで主張してきたことと共通する点が多くありました。また、経費削減の提案、代償措置の提案等には、我々の今後の運動に活かせるものが多々あると教えられました。

----- <山折り> -----

根拠の無い、経営努力も示されない 給与削減には断固反対！

我々は、根拠のない、そしてあまりにも大幅な賃金削減の提案には、今後も反対していくつもりです。総長には、国立大学協会の場合等を通じて、国立大学の存続を危うくするような提案に反対を表明するよう働きかけていきます。

と同時に、もし仮に何らかの形で給与を削減せざるを得ない事態になった場合には、その削減幅を極力抑える努力をすること、あるいは教職員が働く意欲を失うことがないように措置を講じることを、大学当局に対して求めていくつもりです。

引き続き皆様のご支援とご協力をお願いいたします。

----- <山折り> -----

名古屋大学職員組合行き